



今回は、岐阜県スーパーハイスクールセッション（SSS）の報告です。

◇ 地域課題の発見と解決策提案。SSSで、持続可能な地域開発をめざします！



◇ 岐阜大学で、スーパーハイスクールセッション（SSS）が行われました！

1 内容

県立のスーパーハイスクール12校から意欲のある生徒たちに集まり、たがいの研究成果を生かして連携し、自発的で自由なアイデアを出し合い、岐阜大学の学生の助言を受けながら、課題解決に取り組む。テーマは「移住・定住」「地域産業活性化」「福祉・防災」。

2 日程

6月17日、7月8日（悪天候で中止）、8月2日、8月21日 10:00 ～ 15:30

3 会場 岐阜大学

4 参加校

スーパーグローバルハイスクール（SGH） 大垣北、関、岐阜商業、多治見北、斐太

スーパーサイエンスハイスクール（SSH） 恵那

理数教育フラッグシップハイスクール（FSH） 岐阜、岐山、大垣東、岐阜農林

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH） 岐阜工業、岐阜農林

5 募集人数 各校5名以内 ※ 本校からは2年生4名が参加。

◇ 8月21日、SSSアイデアコンクール開催！

1 内容

学校の枠を外した7つの混成チームが、研究成果を口頭プレゼンで披露。『岐阜県の活性化 地域の課題を発見し、解決策を提案しよう！』をテーマに、企画書を作成し発表する。

2 各チームのテーマ

- ・「移住政策 ITとIターン」 移住・定住
- ・「Come back 岐阜っ子」 移住・定住
- ・「橋の下へ行こう！」 地域産業活性化
- ・「天下一品 特産品」 地域産業活性化
- ・「特産物で岐阜を activation！」 地域産業活性化
- ・「高度情報化社会の防災」 福祉・防災
- ・「災害時の対策と避難法 防災道具を用いて」 福祉・防災

3 審査員 大学教員、教育委員、教育委員会幹部、県職員

4 来賓 文科大臣政務官、県議会教育警察委員会委員長



◇ 参加した生徒の感想

■初めての参加で最初はとても不安だったし、お互いに初対面の人たちばかりでちゃんと議論できるか心配だったけど、発表を終えて、やってよかったなと思いました。

移住定住政策についてIT・ICTと関連付けた政策を考えていく上で、自分の知らない知識だったり、岐阜県が抱えている問題を深く知ることができました。また、そのような知識を教えてくれた周りの同じグループの仲間の存在がとても大きく、刺激的でした。自分の生まれ育った地だからこそ愛着を持って行こうと思える活動になり、とても良かったです。

■私はこのSSSに参加することができてとてもよかったと思っています。私はもともと人見知りで自分から人に話しかけることが苦手でした。また、人の前で話すことも苦手でした。しかし、このSSSで初めて会った友達と意見を出し合い課題研究を進めていくことで、自分から意見を出さないと話し合いが進まないと思い、自分から知らない人に話すことができるようになりました。また、プレゼンテーションの方法やどのように話したらスムーズに話せるのかという講義を受けることができ、人の前でもあまり緊急しずに発表できました。

このSSSを通して自分ができなかったことができるようになりとてもいい経験でした。

■岐阜県内の様々な地域の高校から、たくさんの方が集まったので、とても多くのことを学ぶことができました。他校の人と話をすることで、「こんな考え方もあるのか」といった驚きもありました。効果的なプレゼンの仕方を知ることができたので、これからプレゼンをするときに役立てたいと思います。とても有意義な3日間となりました。

■プレゼン後の質疑応答の時間が特にSSSに参加してよかったなと感じました。高校で質疑応答の時間をとって、筋の通ってない質問だったり、ありきたりな質問だったり、同じ子が質問したり、また質問がなかなか出ないため前々から頼んでいる状態で、質疑応答の意義がなされていない状態だったので、今回もなかなか質問が出ないのではと思ってました。でも今回は内容も濃く筋道の通ったなるほどと思える質問で、私ももっと思考力をもって内容の濃い質問ができるようにならないと、と思いました。

多くのグループの意見が実現したら必ず利益があるな！と思えるものだったので、さすが各高校で選ばれし勇士たちのアイデアだと思いました。

今回を通していろいろなキャラの素晴らしい人と関わって刺激をもらったのでこれからの自分に活かしていきたいと思いました。